

# 【解 説】

## 生乳による学校給食について

畜産課酪農係

牛乳による学校給食は、昭和32年度第3学期から酪農振興と学童の体位向上を目的に始められましたが、本県における実施の状況は第1表のとおり極めて僅かであります。

最初農林省が直接行っておりましたが昭和37年度から畜産振興事業団が農林省の委託を受けて実施しており、児童生徒1人1日180ccを単位に1年1,9440を限度に補助金を交付しております。

牛乳学校給食事業は、各学期毎に国の割当を受け

て、各学校の計画に対し指定乳業者が各学校と契約して学校給食事業が開始されます。現在学校給食に使用されている牛乳および、乳製品は第2表のとおりであります。

今までの牛乳による学校給食は、余剰乳対策として取扱われてきておりましたが、漸く来年度からは恒久的に供給されるような段階になりつつありますので、県下の全学童に対し本県産の新鮮で栄養価の高い牛乳が供給される日も近いでしょう。

第1表 年次、学期別学校給食用牛乳供給状況

年次 学期		32	33	34	35	36	37	38
1	供給乳量		1,008,186	8,798	732,543	178,368		996,470
	対象人数(小)				45,261(80)	5,616(27)		1,203(7)
	"(中)				8,587(12)	8,165(14)		13,738(26)
2	供給乳量		2,523,137	1,629,224	744,011	441,181	437,106	2,500,000
	対象人数(小)				760,418(116)	25,633(69)	47,690(20)	(割当)
	"(中)				148,115(14)	15,615(20)	50,938(8)	
3	供給乳量	1,680	1,571,034	1,024,947	763,792	525,777	817,319	
	対象人数(小)				53,337(96)	22,381(67)	11,064(24)	
	"(中)				9,235(15)	15,716(21)	14,345(15)	
計	供給乳量	1,680	5,102,357	2,622,969	2,240,346	1,145,326	1,254,425	

(注：供給乳見、単位本、( )内は学校数)

第2表 学校給食の方法、内容と補助状況について

給食方法	供給内容	供給価格	補助価格	父兄負担
牛乳	牛乳 180cc	ビン 9円 カン 8円	3円70銭	ビン 5円30銭 カン 4円30銭
粉乳	小学校 26g 中学校 35g 高校 33g 幼稚園 23g	59銭8 80銭5 207銭9 144銭9	}g当り 4銭	小学校 59銭8 中学校 80銭5 高校 207銭9 幼稚園 144銭9
委託乳	粉乳 27g バター 1.5g (または植物油脂)	小中学校 4円47銭1 幼高 5円55銭		義務教育 180ccにつき1円08銭
委託乳 (混合乳) (文部省案)	粉乳 22g 牛乳 54g 水 180ccとする		牛乳 180cc 3円70銭 粉乳義務教育 g当り4銭	